



# 食への意識 高めたい!

こだわり農作物のブランド化や、地産地消の推進、農業のイメージアップなど、志の高い農家が集まり活動している「夢農人とよた」が23日、見学・体験会「ファームツアーアー」を開催した。発足3年目をむかえた同団体が、食に対する市民の意識を高めようと新たに始

## トヨタファームでは親子が豚舎見学

始めた食育イベントだ。参加者の反応を見て今後の展開を考えるという。今回用意されたコースは、①トヨタファームの豚舎見学、②大橋園芸の稻刈り、③くらら農園の梨収穫、④近藤果樹園のスニーカー組ずつ参加があつた。

## 夢農人が農場ツアー

記者が取材に訪れたのは「トヨタファーム」。夢農人とよた会長の鈴木雄一さん(43)が豊田市堤本町で経営する養豚農場だ。田原市の農場と合わせて2万頭を飼育し、「三州豚」のブランドで出荷している。

豚舎の見学では、湿度を保つためのミストシャワー、個々の豚に合わせた自動給餌システム、糞尿処理のための施設を見回り、100%植物性飼料の選択など、安定した肉質を保つためのこだわりを説明していた。

出産の区画では生まればかりの子豚を子どもたちに触らせ、毎日100頭が生まれることや、生後1週間で去勢すること、出産後に排出される胎盤が美肌化粧品の材料として買い取られること等も解説した。

夢農人とよたの会長として、農家のイメージアップについて語ってくれた鈴木さんの言葉が特に

牛の酪農なら乳搾り等で生きるが、養豚では食育ができる。生まれたばかりの子豚を触らせた

印象的だった。

「どうしても農家は低く見られます。私はそれを変えたい。普段は長靴に軽トラですが、外出時は意識してスーツにレクサスを心掛けています」

「農家に嫁が来ないのは儲からなくて格好悪いから。格好良くて儲かれば若い女性も目を向けています」「値段では輸入物に勝てません。それでも使ってもらえる美味しい物を作りたい。誇らしい仕事ですよ」【新見克也】